

講義名	研究演習		
講義コード	45210	授業形態	演習
担当教員	青木 良三		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限		
備考			

ゼミ
3. 学部ゼミ・学科ゼミ
学部
5. 商学部
学科
経営学科
演習名
青木良三ゼミナール(経営戦略論)

概要説明
（１）研究課題 このゼミでは、経営戦略論の理論的・実証的研究を行います。理論と実証のバランスのとれた授業を行うつもりです。理論を苦手とする学生が多いですが、理論なき実証はあり得ないので、簡単に諦めずにしっかり学習して欲しいと思います。 （２）指導要領 研究演習（２年次後期） 経営戦略論に関わる基礎知識の習得を目標に置くこととします。授業は、私が経営戦略論について2回ほど講義した後、ゼミ生がグループに分かれて、関心のある企業について2枚程度のレポートをまとめ、発表します。その後、みんなで議論するというやり方で行います。 研究演習（３年次） 研究演習で習得した知識を使いこなせることを目標に置くこととします。企業行動を戦略的観点から分析できるように授業を行います。前期は、ゼミ生が1人ずつ順番に、関心のある業界と企業の分析を行い、レポートにまとめ、発表します。その後、みんなで議論します。その際、できるだけデータに基づいて議論できるよう指導します。後期は、グループに別れてビジネスプランを策定し、発表します。（授業内容については、ゼミ生と相談の上、決めますので、変更する可能性があります） 卒業研究（４年次） しっかりした内容をもった卒論を書き上げることを目標にします。具体的には、卒論のテーマ探し、資料集め、執筆について指導します。まず、卒論のテーマをどのように探したらよいか説明します。ゼミ生の関心と能力を勘案の上、いくつかの候補の中から卒論のテーマを決めます。そして、資料集めの方法と必要な資料の「量」と「質」について解説します。資料が集まったところで、卒論の書き方を説明します。長い文を書くことに不安があると思いますが、懇切丁寧な指導をするつもりです。ゼミ生が卒論を書いている途中で何回か内容についてチェックするとともにアドバイスもします。

学位
学士

教員よりの要望
・ゼミでは活発に議論して欲しいので、「知的好奇心が強く、物事に執着し、忍耐力があり、理屈屋だけれど明るく、思ったことをすぐに口に出してしまう」といったタイプの学生には是非雇って貰いたいと考えています。 ・ゼミ生とは緊密なコミュニケーションをはかっていき、有意義なゼミ活動を行っていきたいと考えています。ゼミが終わった後に会食する機会を設けたいと考えていますので、そういう誘いに積極的に参加できる学生に来て欲しいと思います。ただし、参加は、学生の判断に任せます。強制はしません。

教員英字氏名
Aoki Ryozo
研究室
研究棟 207研究室
最終学歴
東京大学経済学部
主な研究活動・社会活動・研究業績
成長戦略、M＆A戦略に関するケースの開発 「ソニーの出兵時代・経営ビジョンと企業業績」・中内ビジネススクール、２００６年７月 「ファーストリテイリング-（企業目標の達成）-」・中内ビジネススクール、２００６年７月 「経営戦略とリーダーシップスタイルとの関係」流通科学大学論集・流通・経営編 第24巻第1号 2011年7月 楊善聰・青木良三 「卒業生大学生生活満足度調査にみる学生の取り組みと身についた力の経年変化の実態」 流通科学大学高等教育研究センター紀要 第9号 2012年3月 「ビールにおける味の差別化戦略の有効性について」2017年1月流通科学大学論集 流通・経営編 第29巻第2号 高小羊・青木良三

主な卒業論文のタイトル
『キャラクターと経営戦略』 『ホンダ・インサイトからみる経営戦略』 『資生堂の経営戦略』 『エネルギー業界の変化とそれに伴う関西電力の経営戦略』 『東京デイスニーランド&テーマパークの経営動向と比較』

趣味・特技
・音楽鑑賞（とくにクラシック。ＣＤを千枚以上もっている）、飲酒飲食（暴飲暴食になることが多い）。 ・スポーツは、年1回のスキー。

所属
商学部経営学科
所属学会
組織学会

専門分野
経営戦略論。多角化戦略やM＆A戦略、撤退戦略など。

選考方法
研究演習
応募者が多かった場合に面接を行い、志望動機を聞き、成績表を見た上で選考します。学生の人柄にウエイトを置いて評価します。人柄が良く、しっかりした志望動機を持っている学生を選考したいと思います。
研究演習

担当科目
経営学入門、現代ビジネス、経営戦略論A、B、ストラテジック・マネジメント、研究演習、卒業研究、専門基礎演習

備考

評価方法
・対面型講義の場合、出欠状況、レポートの内容と発表の良否、ゼミでの発言回数を勘案の上、評価します。
・オンデマンド型講義に変更になった場合は、レポート課題を何回か出します。そのレポートの内容を見て評価します。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり。１９７９年から１９９７年まで銀行に勤務。調査、融資、ファンド運用を担当しました。企業分析の実務経験を踏まえたコメントができます。